慶應志木会会報

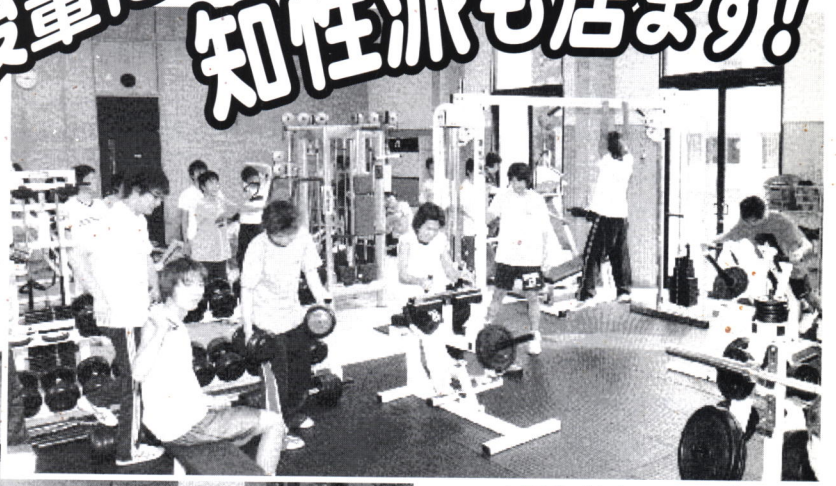
慶應志木会（慶應義塾志木高等学校同窓会）

2005 • vol. 25

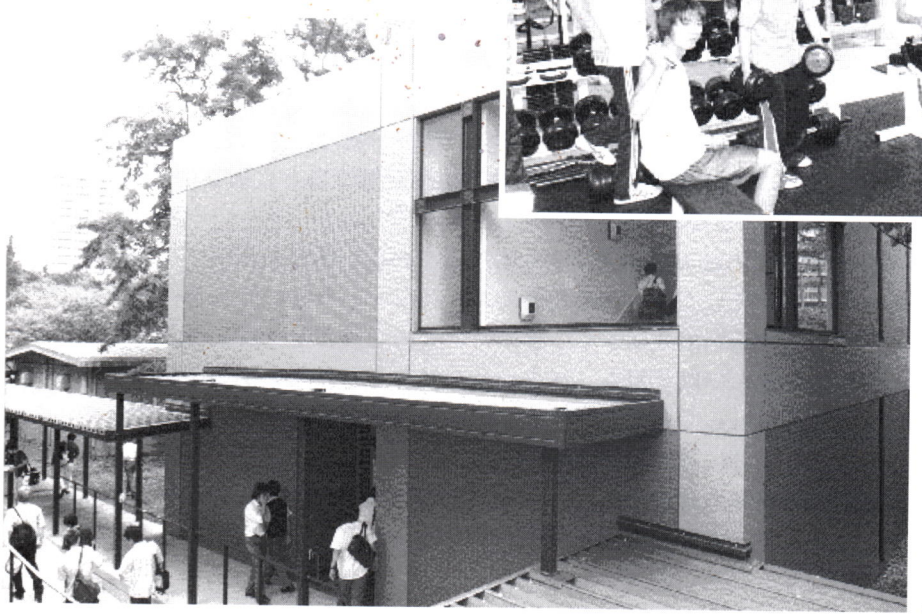
志木高OBの皆さん 元気ですか？

去来舎（合宿所）

後輩には肉体派も 知性派も居ます！



去来舎（トレーニングルーム）



メディア棟

慶應志木会の皆さまへ

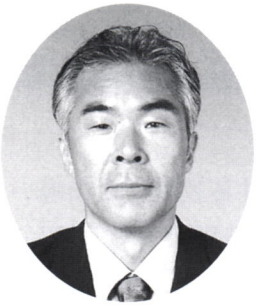
校長　井田　良

2004年の10月1日に、宮島司前校長からバトンを受け継ぎました。「法科大学院の刑法担当教授」というととても偉そうなイメージですが、お会い下さった先輩諸氏はもうご存じのように、貫録のない若輩者です。それに、私は志木高の出身でもありません。当時、普通部から日吉高校に進学しました（志木高の素晴らしさを知るに至り、今は遅ればせながら後悔しています）。志木会の皆さま方にもお教えいただかなくてはならないことがたくさんあります。宜しくお願いいたします。

若い人にとり高校時代というのは難しい時代だと思います。無邪気に・のん気に先生たちや仲間たちと楽しく過ごせた時期は中学校時代で終わります。自意識が芽生えてきて自分がちっぽけで無力に思えてきて不安になります。純粋に考えますから、大なり小なり不正義を許している社会に批判的になります。そして大人たちがイヤになります。外から来るものがすべて押しつけがましい制約として感じられて自由になりたいと願います。高校時代は「漂流」のイメージで捉えられるように、ひとつ間違えれば危険な方向に行きかねない時代であり、誰しもが傷つきながら乗り越えなければならない苦しい時代です。でも、それは大きなチャンスの時代でもあります。自分のことや社会のいろいろな問題について深く考えたり、大学生が読むような、難しめの本を読むことを身に付けたり、真面目なテーマについて友だちや先生と時間を忘れて議論をする、そういったことが行われるのも高校時代です。それは人格形成にとってなくてはならないことであり、豊かな人間性と高い教養を身に付けるための土台を築くことにほかなりません。そのための環境を提供するのが高等学校です。若者の教育における高等学校の責任はきわめて重いと認識しています。

慶應義塾志木高等学校は、志木会の皆さま方のご協力なしに、この重い責務を完遂できるとは思いません。在校生たちは、卒業後もしばらくは、志木高の持つ高いブランドイメージに助けられて生きて行くことになりますが、その社会的評価を築いて下さったのが、他ならぬ卒業生の先輩方であったことに気づいたとき、今度は、母校の名声のため、自分らがそれぞれの分野で力を尽くさなければならないことを知るのです。このような意味における「歴史意識の涵養」なしに教育は完結しません。主として教育の「横軸」を担うのが先生方だとすれば、志木会の皆さまには「縦軸」を担っていただきたいと思うのです。

慶應義塾には、福澤諭吉に由来する、開学以来継承されてきた建学の精神があり、また色濃いスクールカラーがあります。これだけ自由な校風でありながら、構成員の価値観が驚くほどに同質的なのは、「独立自尊」とか、「気品の泉源、知徳の模範」とか、「我よりいにしえをなす」とか、そういう福澤の言葉により表現され、創立後140年以上が過ぎてもなお重要性を少しも失っていない建学の精神にみなが共鳴し、また、それを共有しているからでありましょう。世の大勢におもねらず、自分に誇りを持ち、自律的に判断し行動できる自主独立性、空理空論を振り回さず、世のため人のためにどう役立つかを考える実学の精神、新たに生じてきた問題にも進んで取り組み、従来の発想にとらわれない柔軟な解決を考案できる進取の気性、自分がすぐれたものをもっていてもそれをひけらかさず、弱い立場の人の悩みや苦しみにも思いを致し、異なった意見にも十分に耳を傾けるといった品格の高さ……これらを備える人を育て世に送り出すことこそが慶應義塾の建学の精神であり、志木高校の教育目標です。慶應義塾志木高等学校はその実現に向けて邁進したいと考えます。慶應志木会の皆さまには宜しくご協力のほどお願い申し上げます。



主事　足立　文治

志木会の皆様、今年の春から主事の仕事をすることになりました足立です。よろしくお願いします。私が初めて志木高を訪れたのは1976年の春でした。文学部・英米文学科の英語教育実習生としてやってきました。その時のことは今でもよく覚えています。初めて教壇に立ち、緊張のあまり脚がふるえ、思わず「足が立っている、と書きます足立です」と自己紹介したこと。授業参観の時、つい居眠りをしてしまったこと。豊かな自然のなかで“あまりにものんびりし過ぎている”と思えた生徒たちのこと。

その時はまさか志木高の教員になるとは思っていませんでした。翌年、不思議な縁で非常勤講師として採用され、そして1978年に外国語科の専任教員となり、志木高に根付く事になりました。クラブ活動の方は、庭球部の部長を早いものでもう20数年やっております。

教育実習で訪れた頃の志木高の環境と、現在のものとを比べたりします。トレーニングルームのある立派な合宿所。コンピューター・ルーム。多目的ルーム。そういった新しい施設が出来ました。でも、あのうっそうとした、少し荒い、かといって優しく生徒達を包み込んでくれていたあの膨大な学校周辺の自然は。あの見事な銀杏の樹があった寮の跡は。線路近くにあった飛び地の跡は。教室の中までながれ、聞こえていたあの鶯や郭公のさえずりは。林の中をはしゃいでいた鶏のような“こじゅけい”は。学校の顔ともいえる図書館は。学校の香りを醸し出したはずの音楽教室は。晩秋でも泳げたあの屋内プールは。

志木会の皆様にご支援、ご協力をお願いしたいことがたくさんあります。今ある、豊かな自然を守り、育てつつ、生徒が一日に何度も利用したくなるような魅力ある図書館が。50人の合唱団が歌え、オーケストラ演奏が出来るような広々とした、音響の良い音楽室が。音楽を、演劇を、舞踏を、講演等を開催できる講堂が。9ヶ月間は泳げるプールが。より安全に、思い切り走り、飛びまわれる野球場が。ラグビー場が。トラックが。そういった施設が、その整備が必要となっています。志木高がより素晴らしい学校となるよう、志木会の皆様に、暖かいご支援、ご協力をお願いいたします。

8/6(土) 13:00より
志木高グラウンドにて
OB大運動会です。

参加費は
OB 1人=￥1,000.-
家族は無料です。

前回同様　テニス、バスケット……
夕方は**バーベキュー**
御家族連れで来て下さい!!

枇杷の会（OBによる俳句会）へのお誘い

新緑のすがすがしい季節となりました。
一昨年の6月にスタートした句会サークルも8回目となりました。本井英教諭にご指導いただき、3ヶ月に1回活動しています。当初は武蔵野の自然が残る志木校内を春夏秋冬で散策しておりましたが、今年の4月より土曜日が休校になったのに伴い、都内近郊で吟行しています。

前回4月には枝垂れ桜が満開の小石川後楽園で春を満喫しました。
当日の句を一部紹介すると…

池の鯉にらめっこしに来てのどか　　次　郎
薄日中ゆるりゆるりの糸柳　　英雄子
春光を胃の腑にをさめ鯉沈む　　知　水
白糸の瀧がころがす花椿　　啓　司
花人の声もやさしく行き交へり　　紘　二
枝垂れつゝ花に重さのなしとせず　　英

〈写真〉平成16年10月23日 川越句会にて　須永泰司撮影

この会がきっかけで俳句を始めた方も多く、その後も参加者が増えています。
自然が好きな方はもちろん、普段忙しい方、新しい感動を得たい方におすすめです。
季寄せ（歳時記）はこちらで用意しますので是非一度参加してみませんか。
次回は7月9日（土）　神代植物園で吟行後、深大寺そばを味わいます。
詳しくは志木会HPの掲示板でご案内させていただきます。　　31期・湯浅善衛

麻雀大会

3月13日（日）、日本橋「日本麻将体育協会本部競技室」にて第3回慶應志木会マージャン大会が開催されました。毎回恒例となっている女性プロのゲストには、現在女流最高位戦3連覇中の山口　まやプロ（最高位戦日本プロ麻雀協会）らも迎え、楽しいなかにも真剣勝負の大会となりました。

最後まで混戦だった優勝争いを制したのは、13期の岡田　國孝さんでした（上位の方々は別表の通り）。今回も前回同様、上位の方は6月に行われる「第13期日本無双位戦」への参加権を獲得されました。毎回上位に名を連ねる岡田さん。「日本無双位戦」での活躍も期待しています。なお、第4回大会は新入会員歓迎大麻雀大会と銘打って9月11日（日）を予定しています。

成　績

1位	岡田	國孝（13期）
2位	嵯峨	健民（24期）
3位	町田	保徳（10期）
4位	福地	敏之（21期）

歩こう会

志木歩こう会「小江戸・川越」に参加して　　23期嶋田廣雅

平成16年9月25日（土）曇り時々晴れ、東上線川越駅に11時集合、初参加の私は会員の顔が判らず困っていたが、やがて小さな三色旗を手に品川先輩（野球部時代の監督）が現れ、ほっとした。夫婦で参加された方を含めて総勢19名、小型バスに乗り込んで出発した。車内では地元の山崎さんのプロ並みのガイドで、どこも興味を持って見学することができた。順路は市立博物館（川越の歴史を学びました）、川越城本丸跡、鰻の「小川菊」で昼食（簡単に自己紹介）、喜多院（五百羅漢が有名）、祭り会館（見事な山車の展示）、菓子屋横丁（童心に帰って）、時の鐘（なんといっても一番の名所、けっこう大きい）、山崎美術館と見どころたっぷりの小さな旅でした。殆どバスでの移動だったので、16時30分に川越駅に戻ることができました。

年齢こそ違っても同窓の方と小江戸といわれる川越の魅力を存分に味わうことができました。徳川家と川越の関係、蔵作りの由来など興味は尽きません。駄菓子やお芋のソフトクリームを食べながらワイワイガヤガヤ、また訪れてみたい地でした。「歩こう会」に参加したことのない皆さん、楽しいですよ。一緒にあるきましょう。そうそう、10月にテレビの旅番組で山崎さんが川越を紹介してたっけ（地元の名士なんだ）。いつか私も幹事をすることになったら、4月下旬～5月上旬の「谷中・根津・千駄木」なんかお薦めのコースなんだよなあ。

※「なお、次回は今年2005年9月3日（土）に開催します。皆さんふるってご参加下さい！
詳細は後日、ホームページやメールニュースに掲載いたします。

志木会会員消息

- 相川宗一（11期）
  2005.5　さいたま市長当選
- 市原健一（20期）
  2004.11　つくば市長当選
- 中村奏久（23期）
  2004.12　逝去
- 野村祐明（23期）
  2005.4　熊本大学医学部教授就任

慶應義塾志木高校・志木会行事日程

	慶應義塾志木高校		志木会			
	2005年度		2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
4月	4/6	入学式	4/17 枇杷の会	4/2 枇杷の会	枇杷の会	枇杷の会
5月	5/2、5/6	クラスマッチ	5/21 幹事会総会	5/26 幹事会総会	幹事会総会	幹事会総会
	5/18～5/20	1年研修旅行(箱根)				
6月	6/27～7/1	第一回試験	会報発行	会報発行	会報発行	会報発行
			6/13 サッカー大会	6/5 ｺﾞﾙﾌｺﾝﾍﾟ		
7月	7/19～	夏期休暇	7/10 枇杷の会	7/2 五高ゴルフ会	枇杷の会	枇杷の会
				7/9 枇杷の会		
8月		夏期休暇	8/21 麻雀大会	8/6 運動会	運動会	運動会
9月	～9/4	夏期休暇	9/25歩こう会(川越)	9/3歩こう会(下町)	歩こう会	歩こう会
				9/11 麻雀大会	麻雀大会	麻雀大会
10月	10/8	運動会	10/23 枇杷の会(川越)	枇杷の会	枇杷の会	枇杷の会
	10/11～10/14	2年研修旅行(三陸)	10/30･31 (収穫祭)			
	10/11～10/15	3年見学旅行(北海道)	ジュニア志木会			
	10/29～10/30	収穫祭		収穫祭		
11月	11/6	学校説明会	11/17 幹事会		収穫祭	収穫祭
	11/14～11/18	第二回試験	11/24 教職員懇親会	教職員懇親会	教職員懇親会	11/24 総会
12月	12/7	マラソン大会				
	12/19～	冬期休暇				
1月	～1/7	冬期休暇	1/29 枇杷の会	枇杷の会	枇杷の会	枇杷の会
		自己推薦入試				
		第三回試験(3年)				
2月	2/7	一般入試	2/24 幹事新年会	幹事新年会	幹事新年会	幹事新年会
		第三回試験(1,2年)				
3月	3/24	卒業式	3/13 麻雀大会	麻雀大会	麻雀大会	麻雀大会
			3/24 卒業式	3/24 卒業式	3/24 卒業式	3/24 卒業式

日付が入っていない行事は、日程を調整中です。

◆志木高教職員の異動◆

＜退職＞

体育・大谷嘉信教諭（在職：1966.4.1～2005.3.31）

社会・松崎欣一教諭（在職：1965.4.1～2005.3.31）

社会・梅地　宏教諭（在職：1965.4.1～2005.3.31）

英語・今村淳子教諭（在職：1996.4.1～2004.10.31）

＜新任＞

社会・鈴木　平教諭（2005.4.1～）

体育・山中智之教諭（2005.4.1～）

＜就任＞

校長：井田　良校長（2004.10.1就任）

主事：足立文治教諭（2005.4.1就任）

體育会NOW 第5回

サッカー部部長　宮橋裕司

部員数29名（1年生17名、2年生12名：2005年3月現在）。
西部地区秋季大会対戦結果：2-0（vs狭山清陵）、2-1（vs滑川）、0-2（vs西武文理）。西部支部新人戦予選リーグ：0-0（vs坂戸）、0-0（vs朝霞西）、29-0（vs自由の森）。決勝リーグ：1-3（vs滑川）。

現在の状況を数字で報告するとこのような感じでしょうか。

2004年4月に前部長である渡部真也教諭から引継いだ訳ですが、先生は一生付き合っていけるスポーツとしてサッカーを好きになってもらう、ということを目標に指導されていたように思います。後を任された者として、この基本路線をはずさずにサッカーに真剣に取り組める生徒を中心にチームを作りつつあります（2004年度から入部に際し、リフティングと持久走の「入部試験」あり）。現在の部員達は特に体格に恵まれている訳ではないですが、良い雰囲気の中で和気あいあいと練習に励んでいます。

2005年の春、新しい試みとして、渡部先生の御尽力により筑波大学人間総合科学科の白木仁助教授の研究室において、部員一人一人の筋力測定とランニングフォームのアドバイスを受けました。筋力測定の結果は、個々の発達状態に合ったトレーニングメニューの作成に反映され、故障の少ない選手生活を送ってもらうよう配慮しているところです。白木先生は、スポーツ医学の専門家で、工藤公康（読売巨人軍）、片山晋呉（プロゴルファー）、清水宏康（スピードスケート）らのコンディショニングをサポートする等、プロスポーツの世界でも活躍中の方です。スポーツ選手が故障した時、「じゃ、取り敢えず、マッサージしましょう」といったような故障箇所との因果関係がはっきりしない従来の対処法に対して、きちんとした分析に基づいてトレーニング方法を考えるという手法を取り入れている方です。自分のからだと一生付き合っていく上でも、大事な縁になるのではないかと考えております。

今年の1月には前任の中村直人氏から監督も譲り受け、今のところ手探りの状態で進めておりますが、様々な事に積極的に取り組みながら、生徒達がサッカーを続けて良かったと思ってくれるような部にしていきたいと考えております。

今後とも、御指導、御鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

文化部NOW 第5回

英語部部長　伊藤英治

本校の英語部は、「ESSパート」「軽音楽パート」の2つのセクションから構成されています。それぞれのパートについて活動状況等を紹介いたします。

「ESSパート」

2004年度は1年生と2年生が各1名、3年生が6名が在籍して、全国高等学校英語会連盟主催の大会参加を中心に活動しました．参加した主な大会を挙げますと「インターハイディベート」「フレッシュマンディベート」「プレジデンツスピーチ」「ユニオンスピーチ」などがあります。特に今年度は「ユニオンスピーチ」で優秀な成績を収めることができ、部員一丸となって努力した成果が表れました。2003年度も「メイ・ディベート」において総合成績1位となるなど、ここ数年は各種の大会で好結果を残しています。

また、全国高等学校英語会連盟では、橋本美貴男君が連盟委員長を、黒川優介君が前期広報局長を勤め、連盟の運営にも積極的に参加しました。3年生が卒業した新年度は新2年生、3年生が各1名の小所帯で活動開始となりますが、新たな仲間を加えて先輩達と同様に活躍してくれることと思います。

「軽音楽パート」

ESSパートに比べ，41名（1年生15名，2年生13名，3年生13名，2004年度）と人数が多いということが，特徴の1つに挙げられます。部員がいくつかのバンドに分かれ（と言うよりは，いくつかのバンドが集まってできたクラブと言った方が正確かも知れません）、収穫祭でのライブ（バンド演奏）に向けて日々練習を積み重ねるというのが，軽音楽パートの主な活動です。特に新去来舎に「音楽練習室」ができてからのここ数年は、この練習室の使用を希望するバンドが多くなり、マネージャーがスケジュール調整に頭を悩ますこともあるようです．

新年度は「先輩による後輩への楽器のクリニック」など，クラブ全体での活動も増えるようです。また、いろいろなバンドコンテストにも挑戦していきたいとのこと。活躍の場が広がっていくことでしょう。

同期会 &OB会だより

13期

還暦年度の祝いを次の通り開催しました。
・2月26～27日　林誠君の手配により、塾「月ヶ瀬リハビリセンター」を見学し、天城隋 道・浄蓮の滝などを散策の後、伊豆たつた旅館において笑いの絶えない懇親会。翌日のゴルフは降雪のため残念ながら中止。(写真は天城隧道入口)
・3月10日　岡田圀孝君、丸地能弘君の幹事役で東京国際ＣＣにおいて4組13名で開催。スコアはピンからキリまででした。
参加者：荒川睦、市川隼、岡田圀孝、小野勲、勝又誠一、神谷修、川村知重、児玉一郎、椎野開八郎、田口義夫、田島正昭、田中良忠、千葉宗雄、中鉢智晴、林誠、福地広義、丸 地能弘、水上宏、村岡泰夫、吉田鋼一郎、吉田雄二
※なお、毎月第四木曜日の夕方から四木会を開催していますので、同期の皆様、ぜひお出 かけ下さい。毎回10～15人参集します。
（会場）六本木「貴奈」03-3401-7532

椎野開八郎 記

15期　E 組

志木高卒業後40年経ち、3月24日の第55回卒業式に我ら亦楽会のメンバーが招待されました。一生に一度の機会との事で平日にもかかわらず23名が集合いたし、時空を忘れさせるすばらしい時をいただきました。終了後、建部先生、後藤先生、山田先生、斉藤顕先生、三田先生、渡部先生にも出席いただき同期のA組吉原良一君が経営する志木南口「結婚式場 ベルセゾン」で臨時の亦楽会を開催いたしました。感激の一日でした！
16期以降の皆さん、卒業式には何をおいても出席されることをお勧めします。

倉田伸二 記

15期　B 組

40年振りの志木高で、次の世代を背負う後輩達の卒業式に列席させて貰い感無量だった。このような貴重なチャンスを作ってくれた志木高に感謝します。
我々の当時を思い出し、少々頼りなく思えた卒業生も、一人一人が卒業証書を受け取る姿には、同じ志木の土から育った木に咲いた花のように、それなりに精一杯、花びらを輝かせていたように思う。自分の息子も今年高校を卒業のせいか感慨深く思えた。
彼らは、確実に我々が青春を謳歌し、我々の若き生命（いのち）を、大事に育んでくれた志木高の伝統を絶やすことなく受け継いでくれていると確信した。同時に、その木を育て続けて呉れた先生方（建部先生、山田先生、三田先生、斉藤先生、後藤先生、渡部先生他）そして現役の塾長、校長先生方に心から感謝したい。
帰路、東上線の車中で一緒になった友と、我々も、若い彼らのエネルギーと塾歌（いざ住かんかな…）に刺激され働けるまでは、最後の一滴まで働こうと誓いあった。
ありがとう。

小野直 記

15期　C 組

40年ぶりの志木校卒業式と臨時亦楽会に出席して感じたことは、「ここに出席できる人はある意味でとても幸せな人達だ、勿論健康でなければ出ていけないし、皆、それなりに充実した人生を送っている、だからこれからも毎年出席できる様な自分でありたい、」という想だ。
いくら億万長者でも友人がいなければ寂しい人生だし、つつましい生活をしていても多くの友達がいるということは何にも変えがたい財産だと思う。しかし、皆「本当にいいやつだなあ。」

深瀬啓司 記

15期　C 組

久しぶりの志木の街で学校への道を間違えました。校内の一部は昔の名残もあり懐かしく思いました。非常に楽しい一日を過ごせましたことを改めて感謝致します。
11/19（土）の亦楽会の幹事を頑張る所存です。皆さんご協力をお願い申し上げます。

松野祐作 記

15期　D 組

本当に志木校の友人は最高です。
昔と今を比べたとき、あの途方もない大きな敷地空間、何もない志木の町が青年、教師の心を社会、下界から断絶させた別世界を作っていて、それが自由闊達、　無限の夢を育ててくれたのではないかと思います。
今、ダイエー、マンションに囲まれた志木校を見るとき今の学生は現実に囲まれて夢が小さくなっているのではないかと思いました。ある意味我々は志木高のベスト時代に過ごせたのかもしれませんね。
以前米国の学者が17、18才の価値観は一生を定めると言っていました。
確かに著名な人の自伝にもよく書かれています。私は自分のWeblogで志木校は日本で一番楽しく、自由闊達であたっと書いています。
これからも健康に気をつけて楽しく友人としてお付き合いを宜しくお願い致します。

大関和樹 記

15期　E 組

ご招待頂いた志木校に感謝致します。
大変得難い経験をさせて頂いたと同時に井田校長、安西塾長のご挨拶、学生の送辞、答辞にも感銘を受けました。
志木校を卒業して本当に良かったとしみじみ感じました。

松本圭一 記

20期

2005年2月16日(水)の東京秋葉原「肉の万世」で、毎年恒例になりました、20期の新年会が開催されました。昨年11月につくば市長になられた市原君をはじめ、富山から米田君、神戸から長田君ほか39人の方が集まりました。卒業以来、始めて参加された方もいらして、久しぶりの再開に話が弾んでおりました。本年9月24、25日に市原つくば市長の発案で新たに「つくばエクスプレス」が開通するつくば市で同期会を開催する予定です。皆様の参加をお待ちしております。

金子博志 記

バスケットボール部　OB(野火止会)

バスケットボール部OB会（野火止会）は、4月2日志木高校食堂前のテラスで花見を行いました。現役高校生の激励とOB会会員の親睦を兼ねて始めた花見も十数回を重ねております。

今回は、広島に赴任中のOB会会長の江川孝夫さん（18期C組）はじめ大学生OBを含め各代にわたり三十人近くが顔をそろえました。午前中は、現役対OBの練習試合でたっぷりと汗を流しました。当部のOBでもあり志木高校で体育を担当している佐野先生の「何時も手を抜かない練習」の賜物で？現役諸君は、我々おじさんにも容赦なくプレスを掛けてくるのでボールがハーフーラインを越すだけで一苦労の有様。ちょっと気を抜こうものなら、すぐボールを奪われてしまいます。若い現役パワーに、我々は体力の低下を思い知らされるとともに、先生やコーチングスタッフの毎日の指導のもと、現役諸君の成長を頼もしく感じた次第です。

午後からの花見は、大量の肉を仕入れて恒例のバーベキューパーティーです。花びらが散見できる程度の開花状況などなんのその。楽しかった？いやいや苦しかった現役当時の思い出話を酒の肴にワイワイガヤガヤ。その横で現役諸君は、一心不乱に肉を食べ続け底なしの胃袋を披露していました。最後には現役キャプテンの決意表明などもあり、久々の志木での一日を満喫して散会となりました。

23期・南雲保秀

鉄道研究会　OB会

関係者には待ちに待った日、しかしながら複雑な想いの日であったであろう。震災の被害を受けた山古志村で全日本総合錦鯉品評会が開催された。41期鉄道研究会主将の三田先輩に誘われる縁もあって我らが篠田翁の表彰式に参観してきたので僭越ながらここに報告したい。

まず筆者が会場に入った時の印象であるが、予想に反して全体が華やかな雰囲気に包まれていると感じた。表彰式開始までの間、篠田翁が何点か出品している錦鯉を探す意味もあってプールの中の錦鯉を見物した。どれも本当に見事なものばかりで、すばらしく見えてしまうのだが、やはり何らかの賞に輝いた錦鯉は素人目にもさらによく見える気がした。そのなかでも、我らが篠田翁がそのピラミッドの頂点に近い国魚賞という名誉ある賞を受賞したことは本当にすばらしいことであり、重ね重ねその栄誉を称えたい。

もっとも、氏は常により上を目指しており、我々がお祝いを述べた際もお礼を言いながらも物足りない表情であった。区分別総合優勝をとったこともある氏にとってはその感情は当然のものであろうが、今年の総合優勝を果たした錦鯉も若鯉時代に国魚賞、区分別総合優勝等の賞を積み重ねての優勝であったとのことで、我らが篠田翁の前途は揚々と言えるのではないだろうか。

表彰のときの篠田翁は、さすが社交ダンスで鳴らしてきただけのことはあり、大きなイギリス人をはじめとした周りの受賞者に比べて小さな身体ながら矍鑠とした動きで、老いて益々盛んな元気ぶりをみせてくれた。

わずか数時間であったが、普段あまり触れることのない文化に触れ、我らが篠田翁の元気な姿も拝見することができ、私自身リフレッシュすることができた。新潟復興にわずかばかりの寄付をし、会場を後にした。新潟の早期復興、錦鯉文化のさらなる発展、そしてもちろん我らが篠田翁の益々のご活躍を祈念し、筆を置くこととしたい。

42期・東義一　記

新聞部　OB会

2005年5月18日、有楽町の外国人記者クラブにて、志木高新聞部のOB会が開催されました。当日は、現部長の河野文彦教諭や、現役の高校新聞部員にも出席いただいて、世代を超えた交流を深めることができました。

現役部員によると、ここ数年、新聞部としての活動は冊子の発行が主であり、「志木高新聞」は休刊状態だったそうですが、この秋に復刊を予定しているそうです。

46期・川崎聡　記

55期（今春志木高卒業）

55期生諸君が在籍しておりましたこの3年間は、志木高にさまざまな変化が起こった3年間でありました。まずはカリキュラム。(といいましても、我々に変更が加わったのではなく、我々の下の代、つまり56期からなのですが) 56期以降の週休二日制に伴って、金曜日の1，2限に下級生が一人もいないという現象が起きました。これは授業時間数が我々よりも56期以降が少ないため、その調節として行われたものです。

カリキュラム以外にも、運動会の復活がありました。これは三義主事(当時)が中心となって生徒側に働きかけたもので、今から十数年前に生徒から不要との声が上がり無くなっていた運動会が、(残念ながら生徒ではなく教員側からの働きかけでしたが)復活しました。参加直前までは「だるい」だの「かったるい（面倒の意)」と言っていた生徒側も、いざ当日になってみれば他人にまけじと積極的参加をみせ、また、当日は数多くのご父兄やOBの方々に、観戦しに来て頂き、慶應義塾、そして志木高という一体感をみなが味わいました。

もうひとつ。志木会の皆様にお知らせしなくてはならないことがあります。それは、應援指導部が人数不足により休部したということです。しばらくは塾高等学校から、應援指導部の部員を招聘しておりましたが、同校の應援指導部も人数不足（平成16年度で2人と聞いております）のため、これも不可能となり、毎年恒例（また、大変好評）であった収穫祭の應援アトラクションは16年度で途絶えてしまうこととなりました。一日も早い復活を願ってやみません。

さて、ほかにもさまざまな出来事が志木高三年間で有りましたが、いずれも、とても良い思い出として（卒業して間もないにもかかわらず）思い起こし、志木高が我々に対して如何に有意義な学生生活を提供してくれたかということを身にしみて感じております。これからは、我々55期も志木会の一員として、志木高と志木高生を支えていきたいと思っております。

最後に、我々の卒業式に参加していただいた志木会の方々に、55期生を代表して篤く御礼申し上げると共に、私の挨拶とさせていただきます。

大久保佐太郎　記

《　会員情報の取り扱いについて　》

本年4月から「個人情報保護法」が完全施行されました。慶應志木会ではこれに対応すべく、昨年「会員情報の取り扱いに関するガイドライン」を作成しております。さらに今回、個人情報を適正に、責任を持って取り扱うことを明確にするため「個人情報保護基本方針」を作成しました。

会員情報は志木会の活動の基本となるものです。個人情報を安全に保護し、志木会活動に有効に利用できるように会員の皆様のご理解と、最新情報への更新にご協力をお願いいたします。

◆志木会個人情報保護基本方針

志木会は、会員の皆様の個人の人格を尊重する見地からプライバシーを擁護し、個人情報を適正に取り扱うため、基本方針を作成します。

志木会は「個人情報保護法」に定められた内容を遵守し、適正と思われる方法で個人情報を取り扱うため、以下の取り組みを行います。

1. 個人情報の利用と管理

志木会は諸事業を行うにあたり、個人情報の利用目的をできる限り特定し、目的に必要な限度で適正に利用します。また、利用に当たっては、その安全管理が図られるように、利用者に対して必要かつ適切な監督・指導を行います。志木会は会員から提供された個人情報を安全に管理するために必要かつ適切な組織的、物理的、技術的な措置を講じます。

2.「会員情報の取り扱いに関するガイドライン」の作成

志木会は、個人情報を適正に取り扱うため、本基本方針を具体化する「会員情報の取り扱いに関するガイドライン」を作成します。利用者は当ガイドラインに準拠して、個人情報を取り扱います。当ガイドラインは、社会情勢の変化、運用実態を踏まえ、適宜改正を行います。

3. 個人情報保護の体制

①個人情報保護管理責任者1名を会長が任命します。
②個人情報の保護に関する重要事項等は役員会または幹事会で審議します。
③個人情報に関する窓口は志木会事務局が担当します。
④会員情報は志木会事務局に設置されたセキュリティ対策のされたパソコンで管理されます。

慶應志木会事務局
〒353-0004　埼玉県志木市本町4-14-1　慶應義塾志木高等学校内
Tel 048-471-1959　Fax 048-471-1974
E-mail　info@keio-shikikai.jp

◆慶應志木会「会員情報の取り扱いに関するガイドライン」

1. 会員情報利用の目的

「慶應志木会」の活動に必要な場合に限り会員情報を利用する。
①「慶應志木会」行事の連絡
②「慶應志木会」からの連絡事項の送付
③「慶應志木会会報」の送付

2. 会員情報の取得

①新規会員については、慶應義塾志木高等学校卒業時に、会員情報利用目的を明示して、本人より登録を行う。その際に、会員名簿への情報の公開の可否もあわせて確認する。
②既存会員については、会員名簿作成時に、会員情報利用目的を明示して、情報更新の依頼とともに公開の可否を確認する。

3. 会員情報の更新

①会員情報は会員本人からの申告により更新する。
但し、各期幹事により取りまとめられた情報により更新する場合もある。

4. 会員情報の管理

①登録された会員情報は管理責任者を置き、慶應志木会事務局で管理する。
②会員情報は第三者へは開示しない。
③情報の利用は事務局内での利用を原則とし、同期会の案内等のために利用目的を限定して期幹事に当該の期の会員情報を提供することができる。

5. その他

①当ガイドラインに記載されている以外の目的で会員情報を利用する必要が生じた場合には、役員会において利用の可否を決定する。
②事務局への会員の住所等の問い合わせに関しては、当会の会員に対してのみ会員名簿に記載されている情報に限り問い合わせに応じる。

2004年1月作成

「四季」より…

〈注目！〉志木会のホームページ（http://www.keio-shikikai.jp/）に志木高で宮橋教諭を中心に発行されている「四季」の最新号とバックナンバーを掲載しました。自然豊かな志木高の四季折々の様子が書かれており興味深い内容です。ぜひ一度ご覧下さい。

志木の自然［睦月(1月)，如月(2月)，弥生(3月)，卯月(4月)］

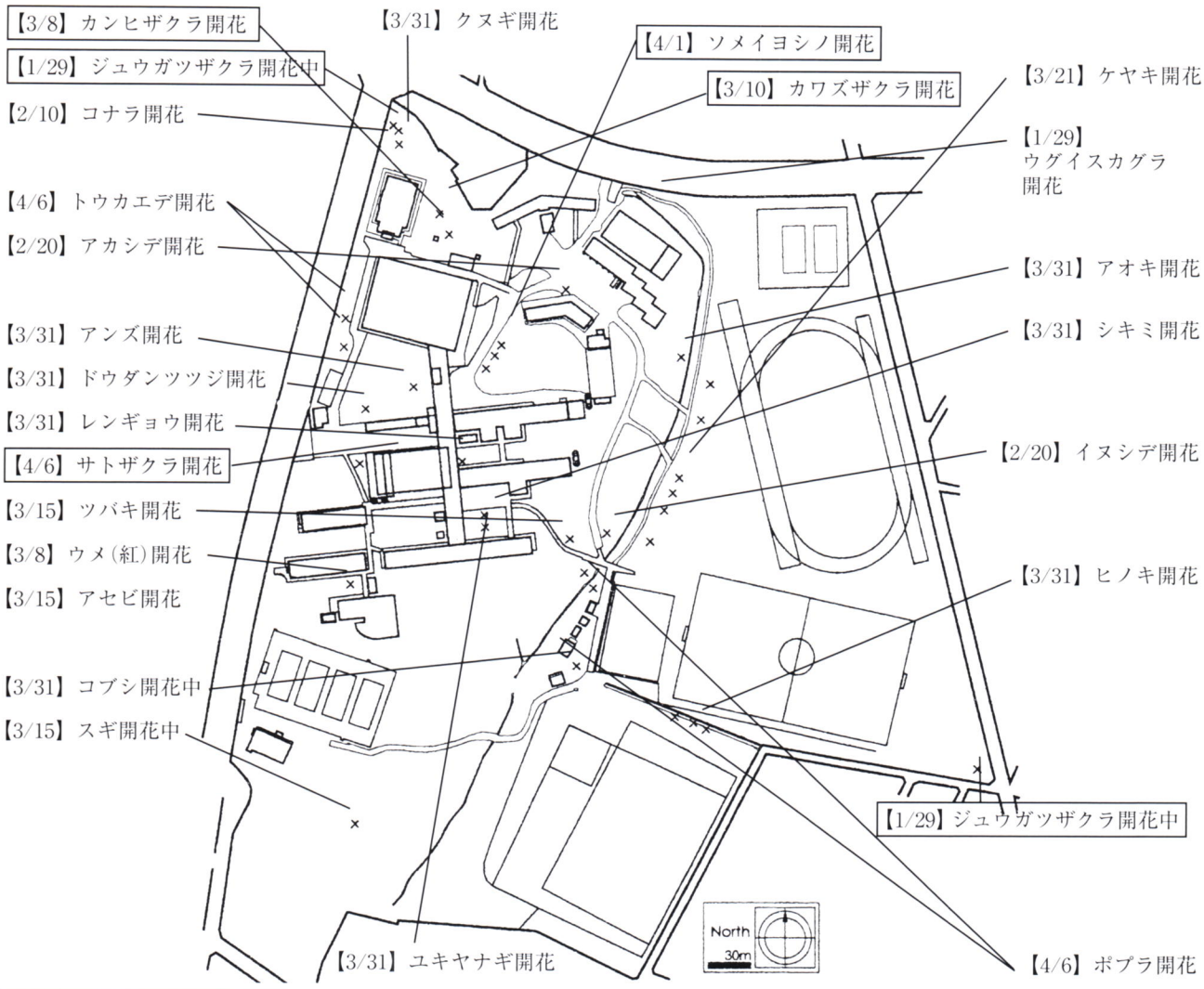
Plants［2005年1月～2005年4月までの記録］

木の芽時は，構内のあちらこちらで様々な花が一斉に開くので気が抜けない．今年は，イヌシデ，アカシデ，ケヤキ，ポプラ等，雄花が穂になるものの開花がずいぶんと目立った．また，雑感として春の花であるホトケノザの個体数が急速に減少し，一方で同じシソ科のヒメオドリコソウが急増しているのが気にかかる．

Grass

20th Feb.2005　ナズナ，タネツケバナ，ヒメオドリコソウ，オオイヌノフグリ開花．
21th Mar.2005　カタバミ，カントウタンポポ，ハナニラ開花．
31th Mar.2005　マルバスミレ，ショカツサイ（ハナダイコン），ムラサキケマン，フキ開花
6 th Apr.2005　カタクリ，スズメノエンドウ，ヘビイチゴ開花．

Wood



この限られた紙面では、名前の出ている植物や動物がどのようなものであるかをお示しする事は不可能です。名前を手がかりにぜひ図書館で一度調べてみてください。（Miyahashi）

志木高の動物・鳥類

本校では，豊かな植物相を土台に数多くの動物が集まります．特に鳥類は豊富で，今年の一月から確認されたものは，キジバト，ドバト，ハシボソガラス，ハシブトガラス，コゲラ，スズメ，オナガ，シジュウカラ，アオジ，ムクドリ，ヒヨドリ，ツグミ，メジロ，シロハラ，カルガモ，ハクセキレイ等です．

しばらく途絶えていた本校防火用水（教員室直下）でのカルガモの孵化も昨年はネコの被害に遭いながら１羽が無事巣立ちました．今年も既に何度か，カルガモの来訪がありましたが定着には至ってないようです．

生物室南側の池では，３/23前後にヒキガエルの産卵がありましたが，2004年では３/15に産卵確認をしていますので，約１週間遅れ，という事になります．

部活動の主な成績

◎体育会			
野球部	4/13	選抜・埼玉県予選（1回戦）	対 朝霞西 5-2
	7/12～7.23	選手権・埼玉県予選（5回戦）	対 早大本庄 1-4　対 本庄 0-7　対 浦和北 0-4　対 所沢北 3-2
競争部	4/17～4/19	インターハイ・西部地区予選（決勝進出）	走幅跳　金子岳史 6m11
	4/17～4/19	インターハイ・西部地区予選（決勝進出）	走幅跳　平田雄紀 6m38
	4/17～4/19	インターハイ・西部地区予選（優勝）	やり投げ　福田亮介 55m34
	6/18～6/22	関東高校陸上競技会・北関東予選(決勝進出)	やり投げ　福田亮介 55m35
	7/23～7/24	国体少年の部・西部地区予選会	やり投げ　福田亮介 55m05
卓球部	4/27-29	県大会・団体戦	2回戦
	4/27-29	県大会・ダブルス	3回戦　大野・松井
	4/27-29	県大会・シングルス	3回戦　松井
	7/17～18	国体少年男子一次予選・シングルス	4回戦　河西
ラグビー部	11/30～1/11	新人戦（地区大会　3位入賞）対　細田49-0、	対 川越東 31-19　対 朝霞西 76-0　対 立教 8-22　対 朝霞西 14-5
	1/18	新人戦（県大会）	対 所沢北 7-45
	9/12～10/3	全国大会予選（4回戦）	対 三郷工技 50-10　対 朝霞西 20-16　対 行田工業 53-12　対 埼工大 7-38
硬式テニス部	4/17-25	県大会西部地区予選（準優勝）	シングルス 杉野
	4/17-25	県大会西部地区予選（準優勝）	ダブルス　杉野-上野
	5/8-10	関東大会予選（団体戦）	第7位　杉野・上野・森田・勝丸・中村
	8/17	県大会西部地区予選・新人大会（優勝）	ダブルス　勝丸－中村
	10/2-10/29	関東大会県予選・新人大会（準優勝）	ダブルス　榛－森田
	11/6-11/8	関東大会県予選・団体戦・2回戦	ベスト4　勝丸・中村・倉谷・菊野・小池・矢島・森田・榛
柔道部		個人・西部地区大会（81kg以下）	ベスト8　飯塚
		個人地区新人大会（90kg以下）	ベスト8　内海
		春期西部地区大会	対 和光国際 1勝4敗
		関東大会県予選	対 岩槻北陵 2勝3敗
		地区新人大会	対 所沢中央 1勝4敗
		県新人大会	対 武南 1勝4敗
バレーボール部	4/24	国体一次予選	対 川越南 0-2
	6/2～6/18	高校総体　対　川越西2-0、	対 所沢 0-2
		埼玉県私立高校男子バレーボール大会	20校中 17位
ホッケー部	5月	埼玉県予選　対飯能0-4、	対 皆野 0-8
	7月	東日本大会	対 可児工業 0-8　対鹿沼東 0-8　対岐阜総合 0-0（PS0-3）対航空 1-2
サッカー部	5/1～5/3	高校総体西部地区予選（3回戦）	対 立教新座 0-0（PK4-3）対 滑川 0-4
	8/21～8/25	高校サッカー選手権大会一次予選（2回戦）	対 春日部共栄 1-0　対 国際学院 1-3
	9/18～9/25	西部地区秋季大会（3回戦）	対 狭山清稜 2-0　対 滑川 2-1　対 西武文理 0-2（予選2位でシード権獲得）
バスケット部	5/2～5/9	春期高校選手権大会西部地区（3回戦）	対 所沢北 82-61　対 所沢中央 71-75
	6/1～6/6	全国総体西部地区予選（3回戦）	対 富士見174-25　対 狭山清陵 87-53　対 埼玉平成 78-86
	8/25～8/31	西武支部大会（3回戦）	対 玉川工業 137-24　対 川越初雁 166-60　対 埼玉平成 73-77
弓術部	3/26	西部地区高校弓道春季大会	団体：一次予選通過　個人：武藤 2次予選通過
	4/25	関東大会県予選	団体：ベスト8　個人：下川5位
	6/12～6/19	全国高校総体県予選	団体：4位　個人：下川決勝進出　吉本 7位
	8/18	西部地区高校弓道夏季大会	団体：2位　個人：吉本優勝
ゴルフ部	5/10	高校ゴルフ選手権埼玉県大会	千田　88　58位/153人中
	11/1	関東高校ゴルフ選手権秋季大会埼玉県大会	武田　92　48位/153人中
剣道部		春の大会（2回戦）	対 深谷第一 2-1　対 不動岡 0-1
		私学大会（予選2回）	対 獨協埼玉　対早大本庄 1-2
スキー部	3/11	埼玉県ポイントレース男子大回転	51位　頭川
	3/12	埼玉県ポイントレース男子回転	25位　頭川
	3/29	埼玉県ジュニア選抜男子回転	7位　頭川
	3/30	埼玉県ジュニア選抜男子大回転	7位　頭川
ソフトテニス部	6/14～6/15	インターハイ県予選会（団体）　2回戦	対 深谷商 2-1　対 熊谷 0-2
	7/21	国体１次予選	不和・管野ペア　予選リーグ決勝　梅澤・志垣ペア　予選リーグ準決勝
水泳部	6/25～6/27	埼玉県学校総合水泳競技大会	200m自由形 13位　林 2.04.84
	8/1～8/2	国体・埼玉県予選	200mフリーリレー 7位　河西・林・戒野・林 1.44.37
軟式野球部	5/7～5/8	県大会（2回戦進出）	対 星野15-1　対　熊谷 2-7
	7/26～7/27	全国大会埼玉大会（2回戦進出）	対 城西川越 7-0　対 熊谷 0-7
	9/29	県民総合大会	対 正智深谷 5-7
◎文化部			
英語部(ESS)	3/31	Inter High School Drama Festival（5位）	
	7/22	President Cup Speech Contest（3位入賞）	田中
英語部(軽音パート)		大塚CAVE、収穫祭で演奏	
生物部		耕作、仙台市で合宿、校内合宿、収穫祭展示	
新聞部		雑誌「Lobby」発行、収穫祭展示	
マンドリン部		高校ギター・マンドリンフェスティバル　努力賞受賞	
		定期演奏会、収穫祭などで演奏	
電子工学研究会		収穫祭でオリジナルゲームを配布	
器楽部		定期演奏会、志木サマーコンサート、埼玉県コンクール、野球部応援など	
鉄道研究会		都営バス乗車、夏期合宿、収穫祭ジオラマ展示	
囲碁将棋部	5/14	高校選手権埼玉県大会（個人）	7位 野口
	5/16	高校選手権埼玉県大会（団体）	優勝→全国大会
	7/30～7/31	高校選手権全国大会（団体）	ベスト16

平成16年慶應志木会　収支報告書（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

単位：円

収入		支出	
適用	金額	適用	金額
前期繰越金	15,119,753	会報費	2,716,882
		会議費	364,773
維持会費	4,302,000	式典費	120,000
新入会費	1,760,000	交際費	336,731
名簿収入	28,100	通信費	49,770
物販収入	121,100	振込費用	11,670
サッカー大会会費	146,000	残高証明書発行手数料	1,200
歩こう会会費	72,000	事務費	37,613
教職員懇親会会費	57,170	パソコン関連費	391,829
幹事会会費	145,000	収穫祭寄付	300,000
寄付金	300,000	サッカー大会費用	587,850
預金利息	94	教職員懇親会費用	170,000
		歩こう会費用	123,700
		卒業式寄付	300,000
		中越地震義援金	30,000
		会費返金	10,000
		次期繰越金	16,499,199
合計	22,051,217	合計	22,051,217

預金残高明細（3月末現在）

（銀行）	（種別）	（適用）	（管理）	（残高金額）
りそな	普通	一般	増山	7,801,697
埼玉りそな	普通	入会金	増山	1,760,003
郵便局	振替	会費口	増山	4,581,400
郵便局	振替	名簿代	増山	27,500
三井住友	普通	小口	金森	1,791,632
埼玉りそな	普通	小口	竹内	536,967
合計				16,499,199

監査報告

慶應志木会会則第18条に基づき、平成16年度（平成16年4月1日～平成17年3月31日）の会計監査を実施いたしました。
その結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

監事　宮田　勝
監事　大道　賢二
監事　鹿野　元章

平成17年5月10日

慶應志木会会費の皆様へ

慶應志木会では、5年分一括で会費を頂載しております。本年3月末までの残高は1650万円と一見潤沢に見えますが、志木会の運営費としては毎年600万円必要であることや、次回の総会開催のための準備資金を考えますと、今後3年間の必要資金としては大幅に不足しております。

（千円）

年度	収入見込	支出見込み	繰越金	
2005	1500(新入会費)	6000	7000	3年目
2006	1500(〃)	6000	2500	4年目
2007	1500(〃)	12000	▲8000	5年目(大会開催)

まだお納めいただいていない会員の方々におかれましては、現状をご理解いただくと共に、志木会の一段の充実と発展のために、第4期「5年分 1万円」を、最寄の郵便局よりご送金頂きますよう、ご協力をお願い申し上げます。

開催決定！ 志木会総会

2007年11月24日(土) ：ホテルオークラにて
再来年のことは今から決めても、志木の鬼教論は許してくれる！
志木高OBは、今すぐ手帳に予定を記入！

次回会報原稿募集

☆ 原稿〆切：2006年3月1日～3月31日

☆ 広告〆切：2006年4月20日

☆ 発行予定：2006年6月15日

広告掲載料金

☆ 1 面 ・・・ ￥30,000.-

☆ 1/2面・・・ ￥15,000.-

☆ 1/4面・・・ ￥7,500.-

☆ 1/8面・・・ ￥5,000.-

連 絡 先
Fax:048-471-1974（志木会事務局）
メール：info@keio-shikikai.jp
ホームページ：http://www.keio-shikikai.jp/infoupdate/

メールマガジン

今年4月より、志木会の名簿にメールアドレスを登録されている会員の皆様へ、

月一回メールマガジンをお届けしています。

発行は**毎月第3金曜日**、ほかに緊急のお知らせを臨時でお届けすることもあります。

イベント情報や慶應志木会からのお知らせが主な内容ですが、会員の皆様からの投稿も**大歓迎！**

同窓会、クラブOB会 etc...タイムリーな情報発信源として、どうぞご活用ください！

「届いていない」という方は、

志木会ホームページ（**http://www.keio-shikikai.jp/mm/**）

からメールアドレスを登録できます。みなさん必ずご登録を!!

志木会オリジナルグッズの販売

第４回総会を記念してオリジナルグッズのネクタイと携帯ストラップを販売しています。
数量に限りがありますのでお早めにお申込ください。

ご希望の方は**志木会事務局へFAX　048-471-1974** または info@keio-shikikai.jp へ**メールで**住所、氏名、希望の商品、数量をご連絡ください。あわせて代金を下記の口座へお振り込みください。
振込みを確認後商品をお送りさせていただきます。

ネクタイ　（2種類）

Aタイプ　2002年モデル　英国製生地使用　オリジナルデザイン
普段でも着用できる、紺と赤と黄（グラウンドの土、柿）のストライプタイプ裏にペンマークとKEIO SHIKIのマーク

Bタイプ　第３回総会のときの作成したモデルの復刻版です
柿の木下のSHIKIの字がシルバーになりました。

Aタイプ(裏)

Bタイプ

Aタイプ　Bタイプ

どちらも１本　4,000円です。送料は４本まで500円です。５本以上はお問い合わせください。
Aタイプ　**紺赤黄ストライプ**、Bタイプ　**柿ノ木モデル**　とお書きください。

ストラップ

１本　500円　送料100円です。
ネクタイといっしょのときは送料は不要です。

代金は下記の口座へお振り込みください。

埼玉りそな銀行　志木支店　普通　3525739　慶応志木会事務局

志木高50年誌＆アルバム集の販売について

志木高50年誌（1998・9・26発行）アルバム集を、志木会員の皆様に限定20セットで販売いたします。
とても素晴らしい記念誌と懐かしいアルバム集です。
ご希望の方は、志木会事務局へ FAX 048-471-1974 またはinfo@keio-shikikai.jpへご連絡のうえ、下記の口座にお振り込みくさい。
価　格：￥5,590円（送料込み・限定20セット）
振込先：慶應義塾志木高校　埼玉りそな銀行　志木支店（普）0003009

■役　員■

名誉会長　井田　良（校長）
会長　多田　毅（７期）
最高顧問　櫻井英太郎（１期）
顧問　大谷　熙（１期）龍野　和久（１期）
品川　雅貴（12期）本橋　重夫（15期）
西村　孝一（17期）
副会長　足立　文治（主事）
原田　薫（15期）総務担当
増山治一郎（17期）財務担当
中村　弘司（23期）事業担当

監事　宮田　勝（５期）大道　賢二（12期）
鹿野　元章（16期）
幹事長　五老　輝彦（９期）
幹事長代理　飯島　敏一（21期）
担当副委員長　金子　博志（20期）事業（ＩＴ）担当
金子　康雄（22期）事業（会報）担当
小川　洋（25期）事業（企画）担当
山崎　嘉正（26期）総務担当・事務局兼務
金森　悟（27期）財務担当

幹事

期	氏名				
1	藤井　淳	松本　仙太郎	遣　勝利		
2	遠山　正秀	惣滑谷　啓司	河		
3	品川　仁	岩崎　勝利	菅野　光男		
4	藤岡　民良	高橋　公郎	伊藤　金次郎	三浦　靖夫	
5	宮田　勝	寺嶋　延行	小林　石三	林　成郎	藤井　洵
6	真野　信裕	松本　福太朗			
7	熊崎　順次郎	鈴木　正治	渡辺　正		
8	青木　宏至	品川　宗弘	大須賀　均	磯部　和宏	
9	南部　達雄	前田　克巳	佐々木　弘暢		
10	馬場　紘二	斉藤　彰	荒木　幸生		
11	鴻田　益孝	桜井　馨	馬渕　祥宏	川原　照男	西　光由
12	太刀川　俊男	川久保　達也	岡田　幸次郎	原田　雄介	
13	千葉　宗雄	清水　武寿	椎野　開八郎		
14	小林　好二	築山　正俊			
15	小笠原　準一	倉田　伸二	河村　朋邦		
16	川端　清治	工藤　親彦	阪東　宗文	近藤　隆夫	
17	須永　泰司	荘　敬典	北村　基樹	前嶋　晶廣	
18	奥村　一人	間宮　勝			
19	中西　廣策	星野　恭一郎	村上　功治		
20	中　一弥	杉　雅俊			
21	福地　敏之	内山　洋一			
22	櫻井　造雄	三木　哲郎			
23	夏目　雅	梅澤　由起	森田　榮一		
24	赤木　均	島影　幸有	田沼　潔		
25	高橋　宣行	島田　徹剛			
26	山田　純男	船山　利宗一	小池　雅澄	善木　達明	澤田　尚史・中川　龍士
27	鬼頭　真一郎	永井　望月	渕岡　繁		
28	大館　信				
29	大熊　伸治				
30	岸田　一男	木島　一郎			
31	曄道　佳明	布施　浩行	梶原　靖友	内匠屋　健	
32	町野　素久	横江　資友			
33	小玉　裕	河野　潔			
34	山下　孝	宇賀神　隆	渡辺　英雄		
35	須佐美　文忠	昌谷　健司			
36	笛木　儀久				
37	鍋島　康友	永田　博詳	植島　博之		
38	知久　康成	中里　栄基	金子　隆則		
39	丸山　和紀	田中　浩樹			
40	井上　晴生	税所　篤史			
41	柏木　徹	三田　貴良			
42	安　重煥	小島　圭			
43	藪原　一暁				
44	宮田　真詩				
45	若松　洋雄	小山　一			
46	川崎　聡	伊集院　弘和			
47	小寺　俊且	谷　嘉康	森　茂之	西本　祥仁	
48	岩崎　弾	亀山　雄高	黒川　真行	寺西　富広	
49	石川　快	廣江　安彦			
50	髙岡　功	徳田　征之	小林　敬英		
51	石井　強太	森川　渉	浅岡　良彦		
52	毛呂　淳一朗	渡邉　慶太郎			
53	森岡　多門	林　憲之			
54	塚本　大夢	中川　雅			
55	大久保　佐太郎	池端　俊太			

編　集　後　記

今年も志木会の皆様に会報をお届けすることが出来ました。ご協力いただいた方々に深くお礼申し上げます。ご存じのように、今春の選抜高校野球では、日吉高校の野球部がベスト８まで進出しました。甲子園には、日吉高校の関係者やＯＢはもちろん、志木会や三田会の方も大挙して押し寄せ、非常に盛り上がったそうです。慶應勢の活躍は嬉しい限りですが、志木高OBとしてはちょっと複雑なのも事実。近い将来、志木会が中心となって、甲子園で思い切り「若き血」で応援できる日が来て欲しいものです。(K)

慶應志木会会報　2005 ●Vol.25

平成17年６月15日発行
編集・発行　慶應志木会（慶應義塾志木高等学校同窓会）
〒353-0004　志木市本町4-14-1
発行人　多田　毅
印刷　(株)精興社